

「高島市のまちづくり活動」に関するアンケート集計結果

【アンケートの目的】

高島市では、市民の主体的な活動を応援し、持続可能なまちづくりを進めるため、さまざまな施策を実施しています。このアンケートは、市民の皆様のまちづくりに関する意識や活動の現状を把握し、今後の地域自治のあり方や支援施策について検討する際の基礎資料とするために実施いたしました。

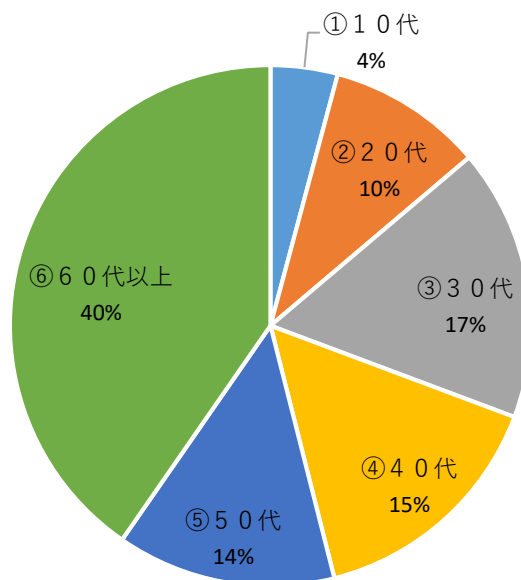
【実施期間】 令和4年11月18日（金）～令和4年12月6日（火）

【アンケート協力依頼者数】 748人

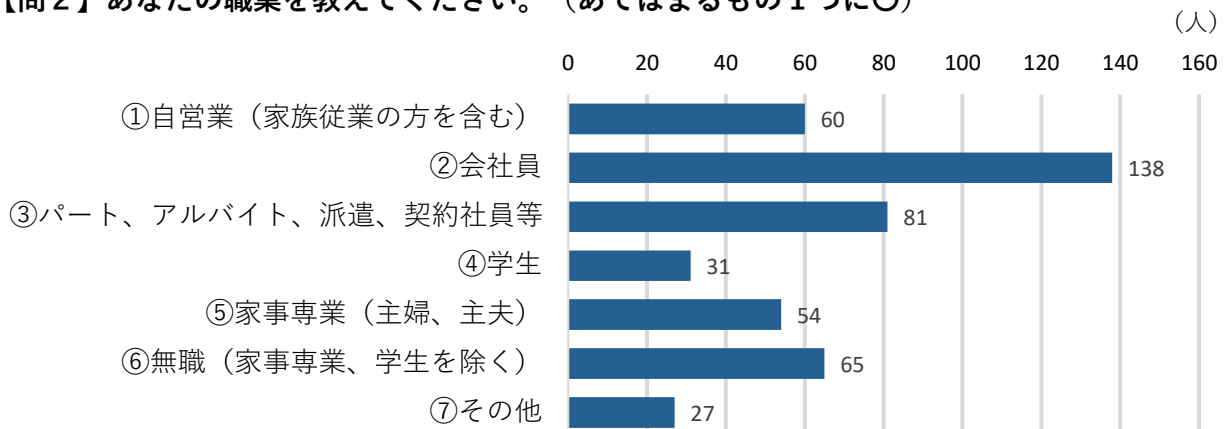
【回答者数】 456人（ネット回答298人・郵送回答158人）

【回答率】 61.0%

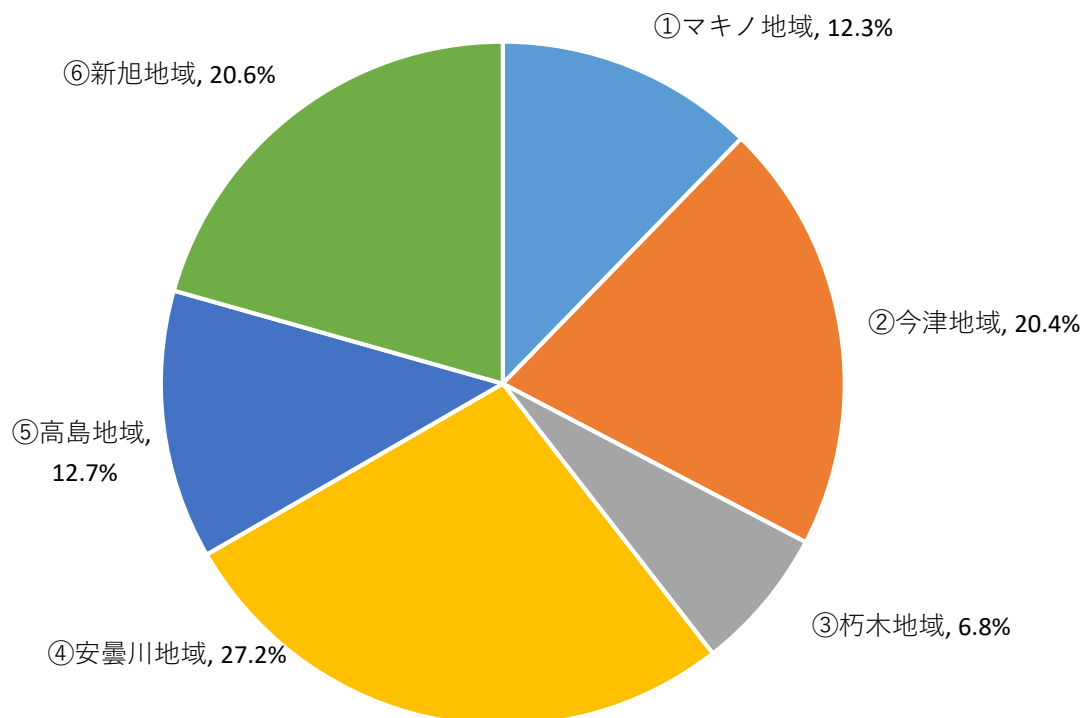
【問1】 あなたの年代を教えてください。（あてはまるもの1つに○）



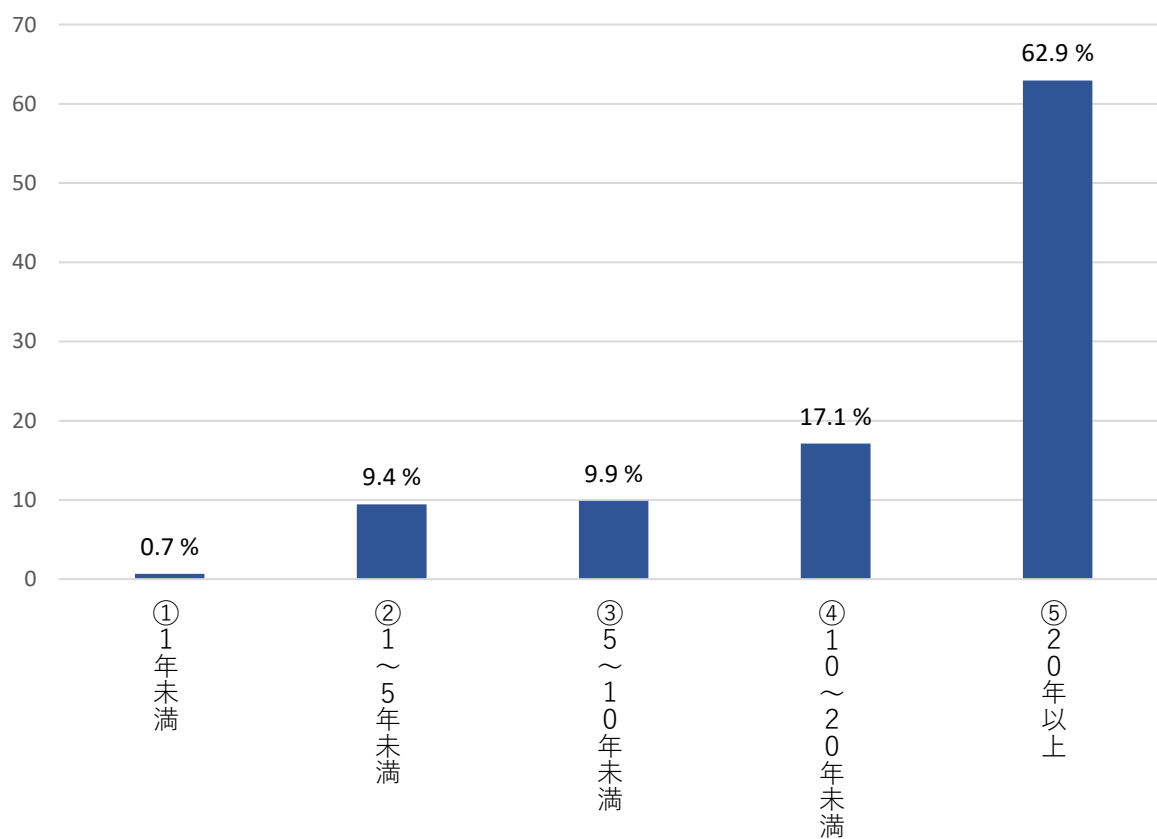
【問2】 あなたの職業を教えてください。（あてはまるもの1つに○）



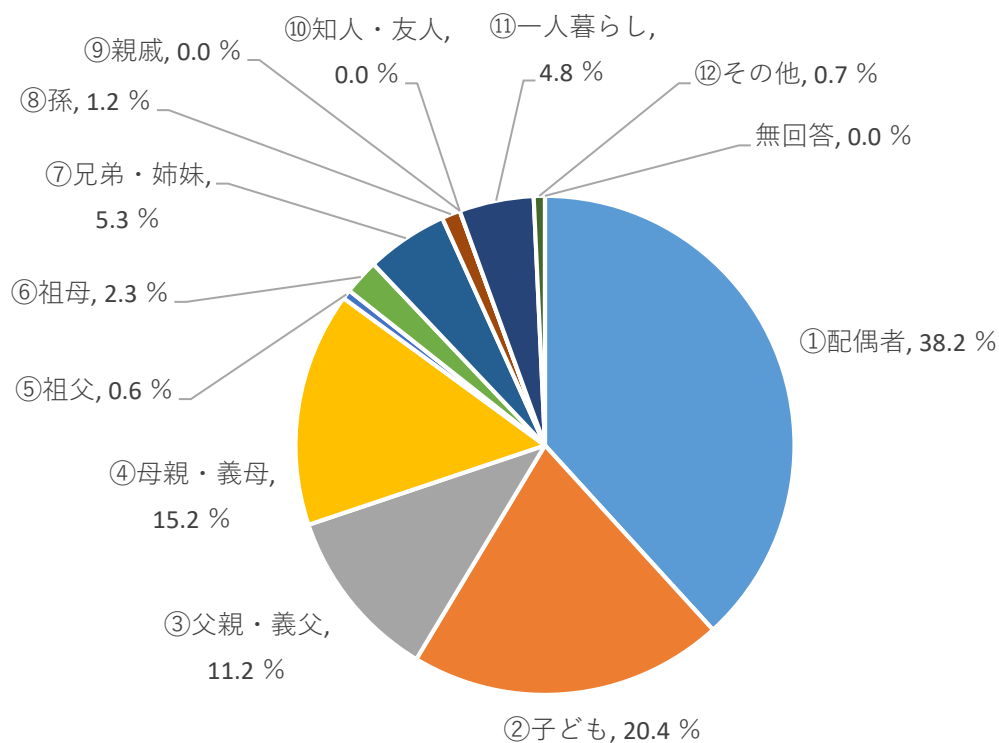
【問3】 あなたがお住いの地域を教えてください。（あてはまるもの1つに○）



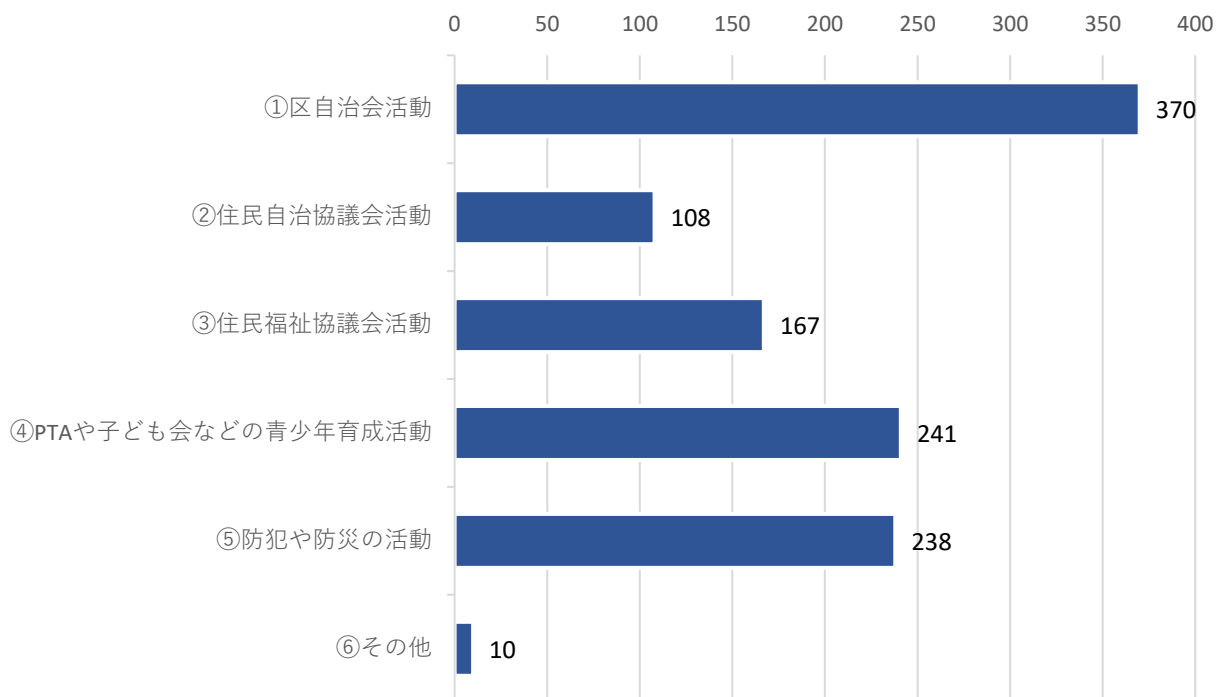
【問4】 現在の地域に住んでいる期間を教えてください。（あてはまるもの1つに○）



【問5】あなたが現在一緒に暮らしている人を教えてください。（あてはまるものすべてに○）



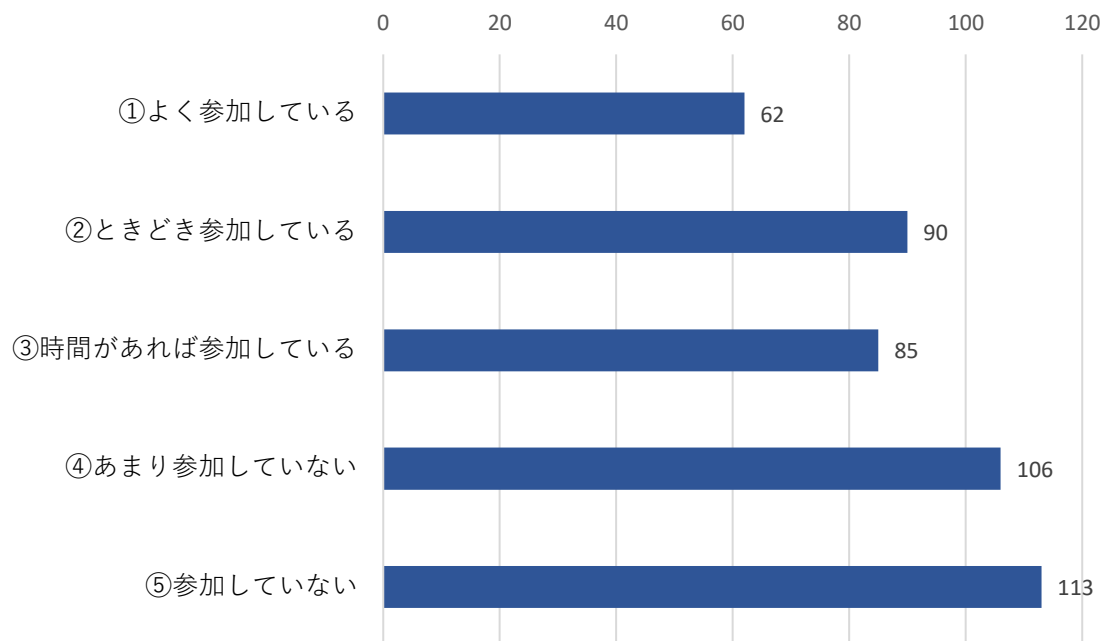
【問6】あなたが住む地域で行われているまちづくりを目的とした活動で、知っているものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）



<その他の主な回答>

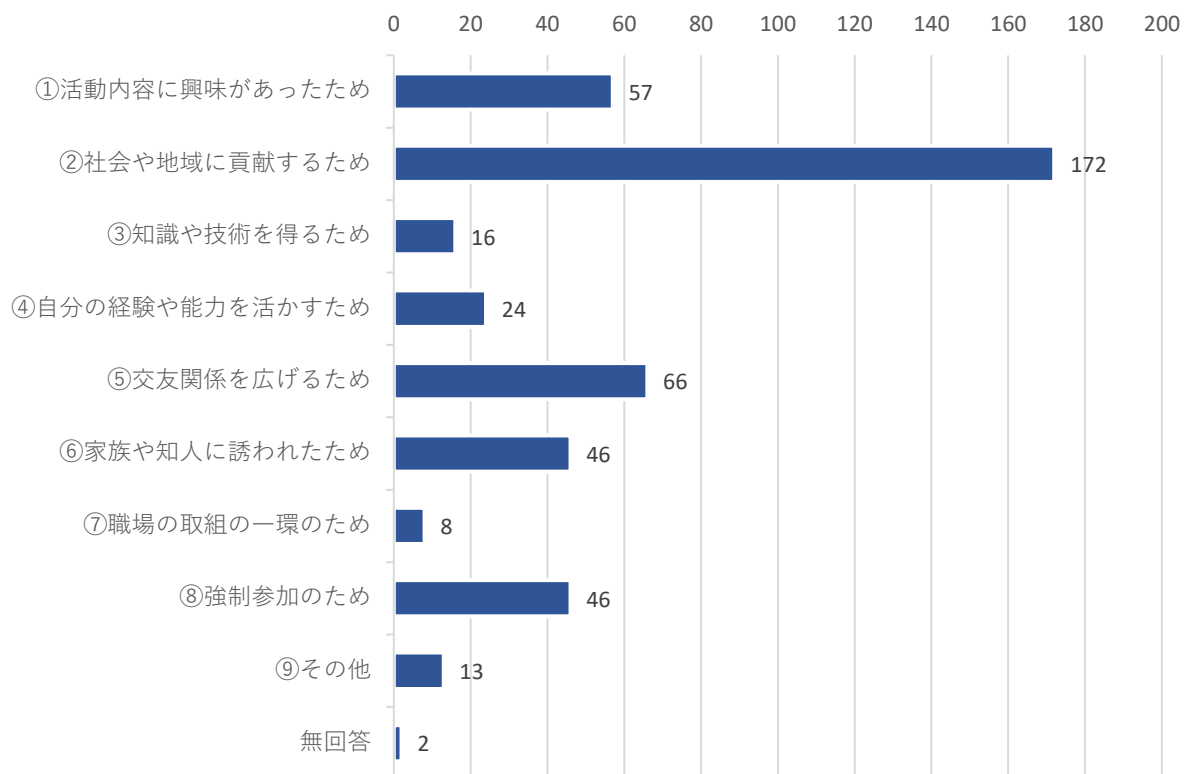
・地区まつり、伝統行事、寺社祭礼・儀式など

【問7】あなたは、まちづくり活動に参加していますか。（あてはまるもの1つに○）



<問7で①から③と答えた方に伺います>

【問8】その活動に参加したきっかけは何ですか。（あてはまるもの1つに○）

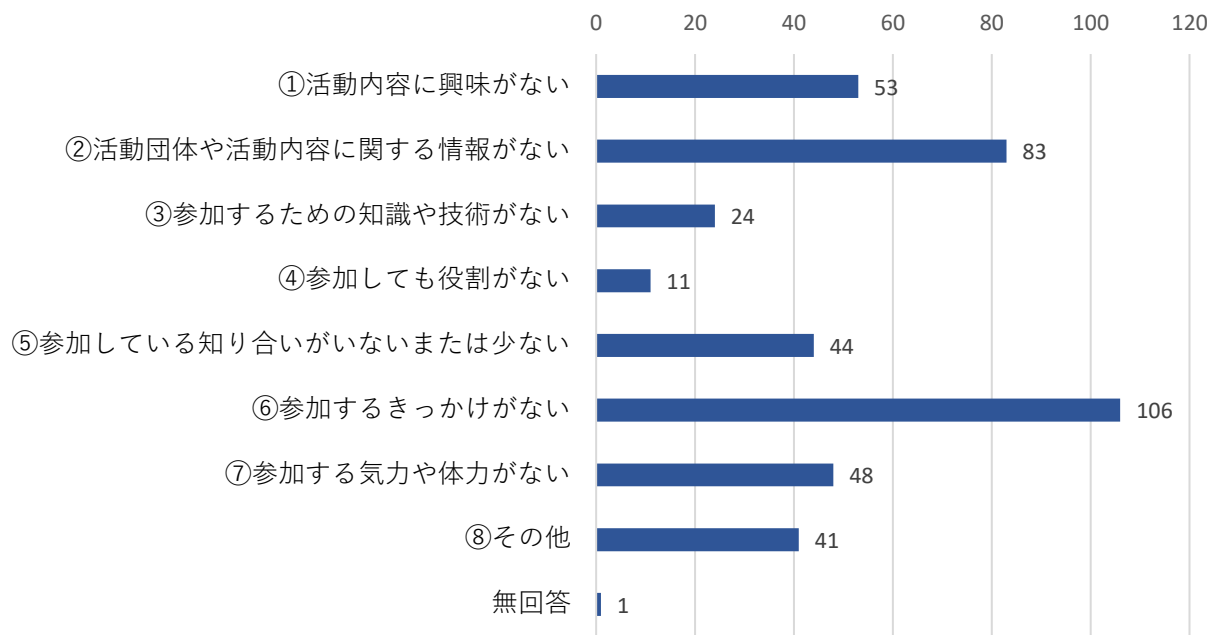


<その他の主な回答>

・地区の役員選挙で選ばれたため、学校の取り組みの一環だったため、区の役員になったきっかけで。

<問7で④または⑤と答えた方に伺います>

【問9】その活動に参加しない理由は何ですか。（最大2つに○）

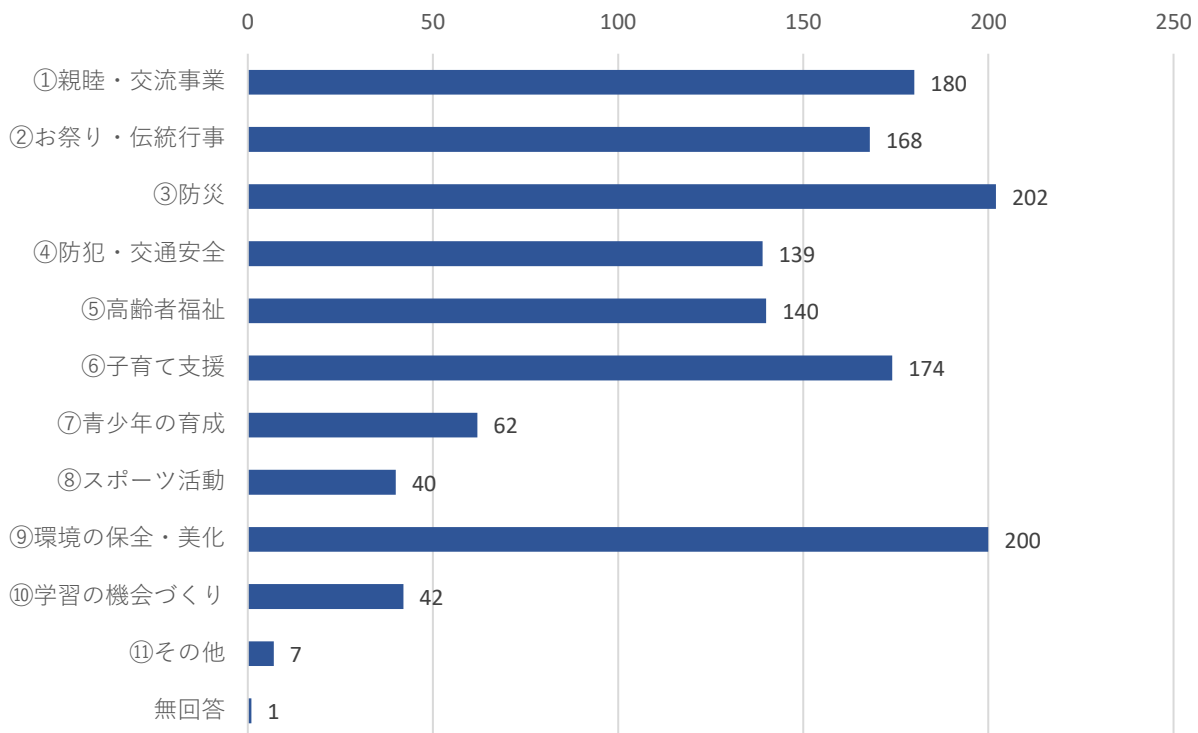


<その他の主な回答>

・仕事が忙しく参加できない、親が参加している、自治会に入っていないため

【問10】まちづくり活動において、どの分野の活動が重要だと思いますか。

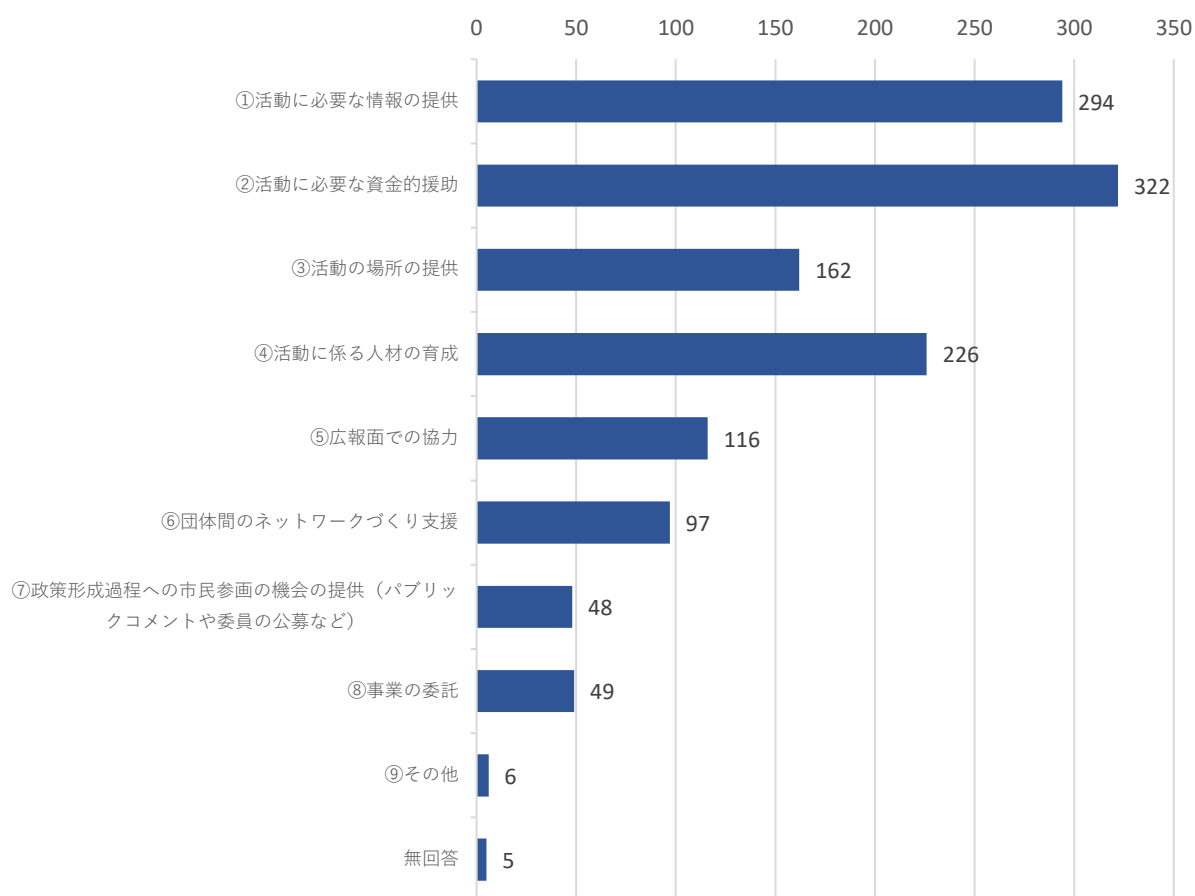
（もっともあてはまるもの3つに○）



<その他の主な回答>

・障害者福祉、住民が安心して暮らせること、全て大事、バランス良く

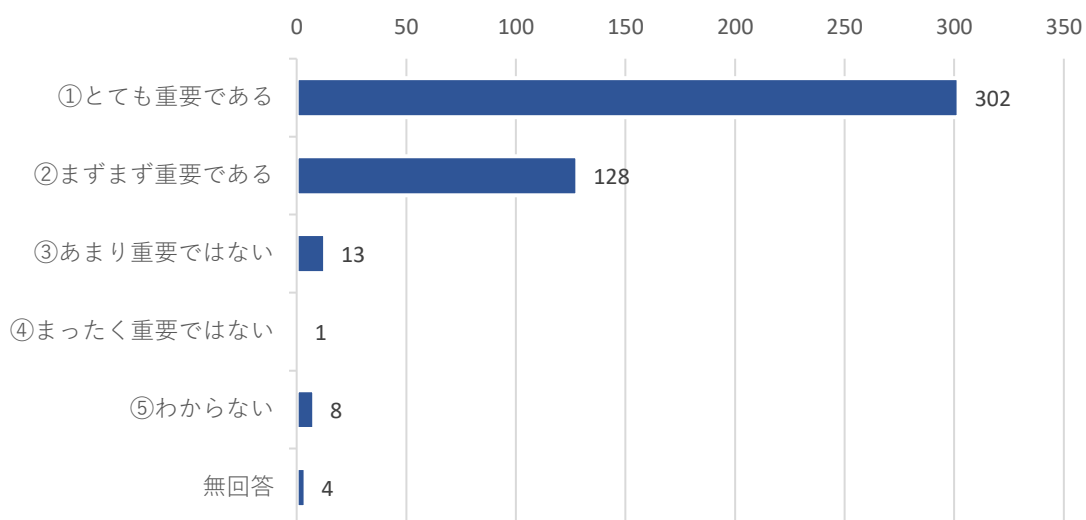
【問 1 1】まちづくり活動を行おうとする場合、市からどのような支援が必要だと思いますか。
(もっともあてはまるもの3つに○)



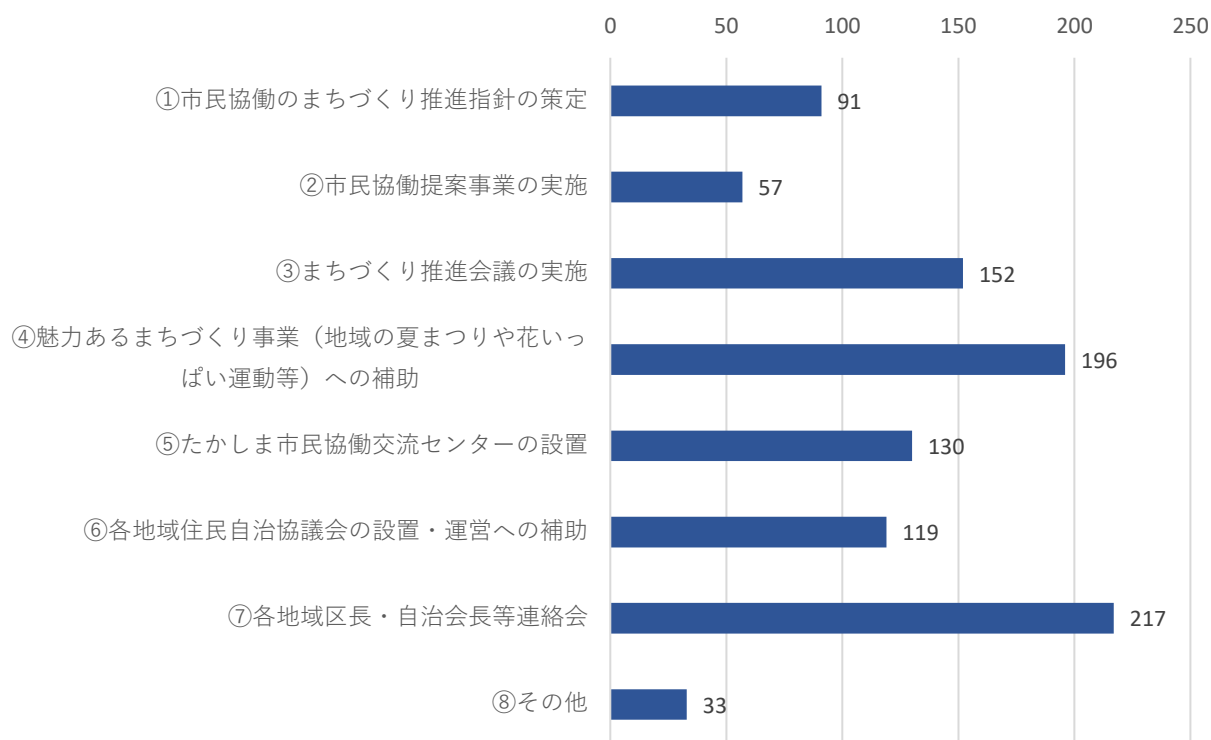
<その他の主な回答>

・住民の意識改革をしてもらう働きかけ、地域に依存しない人材育成、市からの人的サポート

【問 1 2】まちづくり活動の中で、行政の果たす役割は重要だと思いますか。



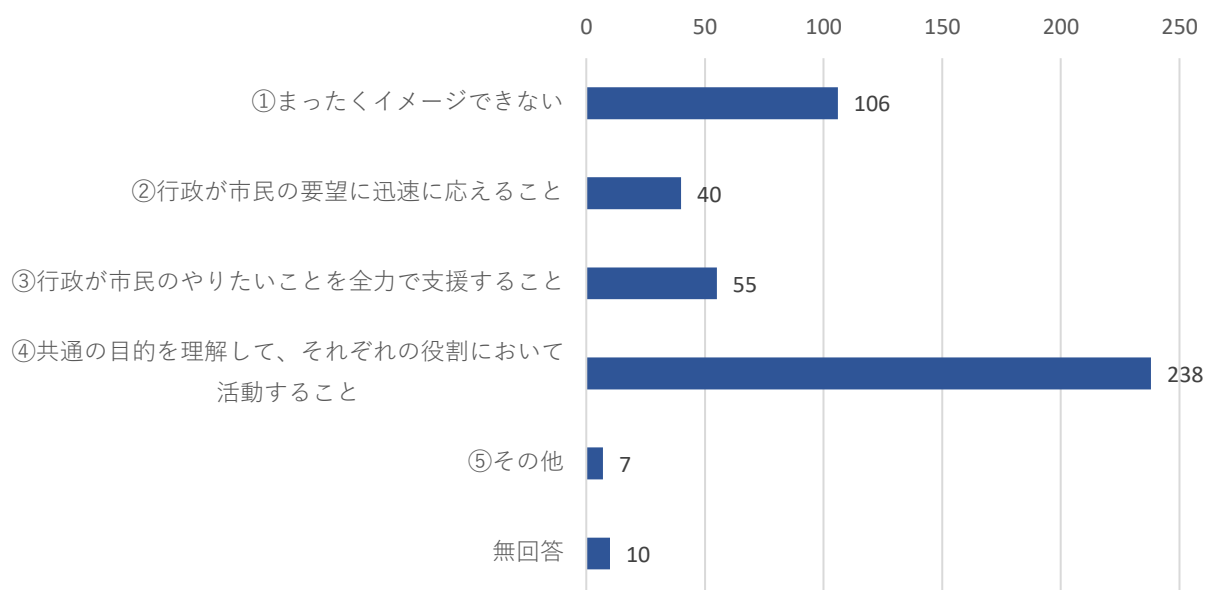
【問 1 3】高島市では、地域の各種団体と市と市民が協働で事業を進め、持続可能なまちづくりを行うために次のような事業を実施しています。あなたが知っている事業はどれですか。（あてはまるものすべてに○）



<その他の主な回答>

- ・自治会づくり支援、聞いたことがある程度で活動内容は知らない。詳しく認知していない

【問 1 4】あなたが思う協働のイメージはどれですか。（あてはまるもの1つに○）

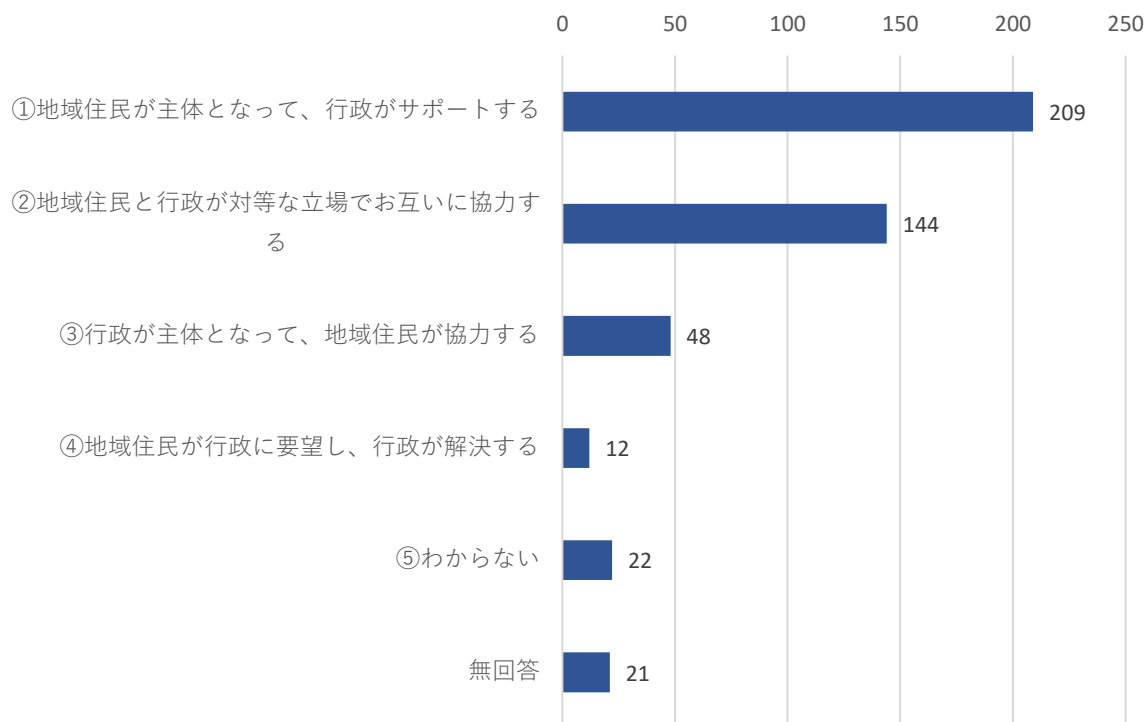


<その他の主な回答>

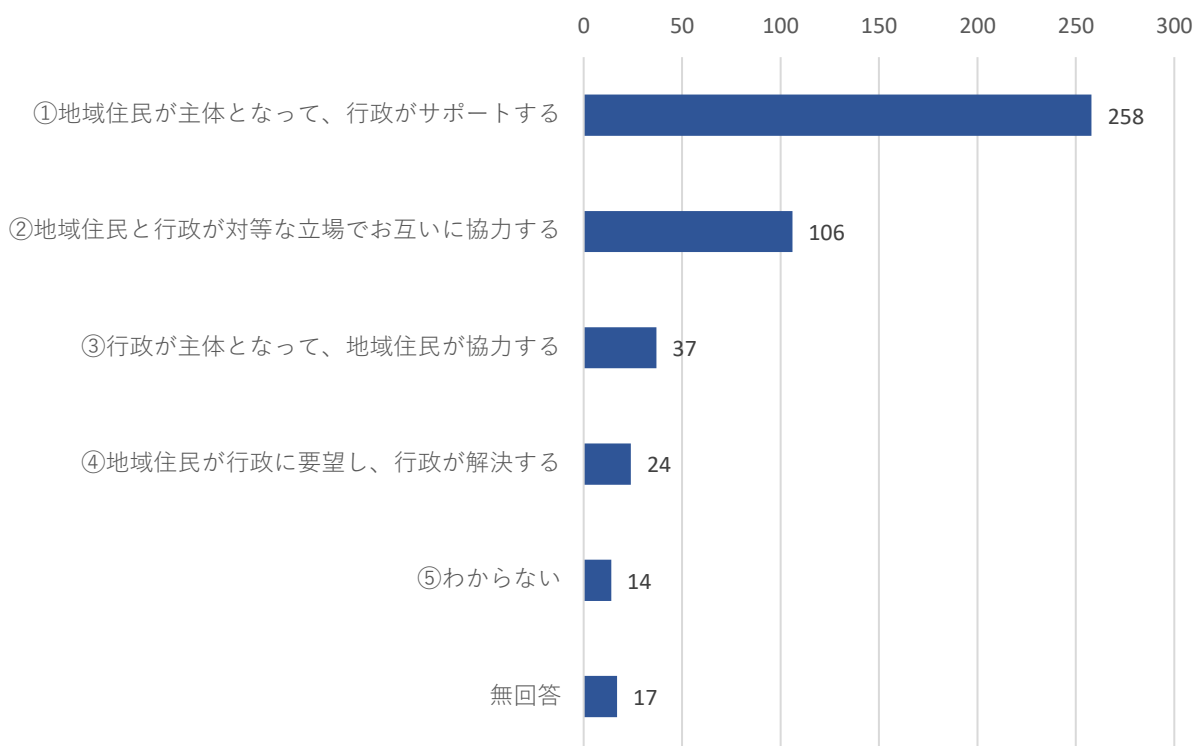
- ・市民、行政ともに目指すべきものが共通していること。目標のために協力して活動すること、一方的ではなく、互いの意見を尊重したり情報交換しながらそれぞれの役割を果たし、目的にむかうこと

【問 1 5】 今後、各分野のまちづくり活動を進めていくにあたり、地域住民と行政はどのような関係であることが望ましいと思いますか。（それぞれの分野であてはまるもの 1 つに○）

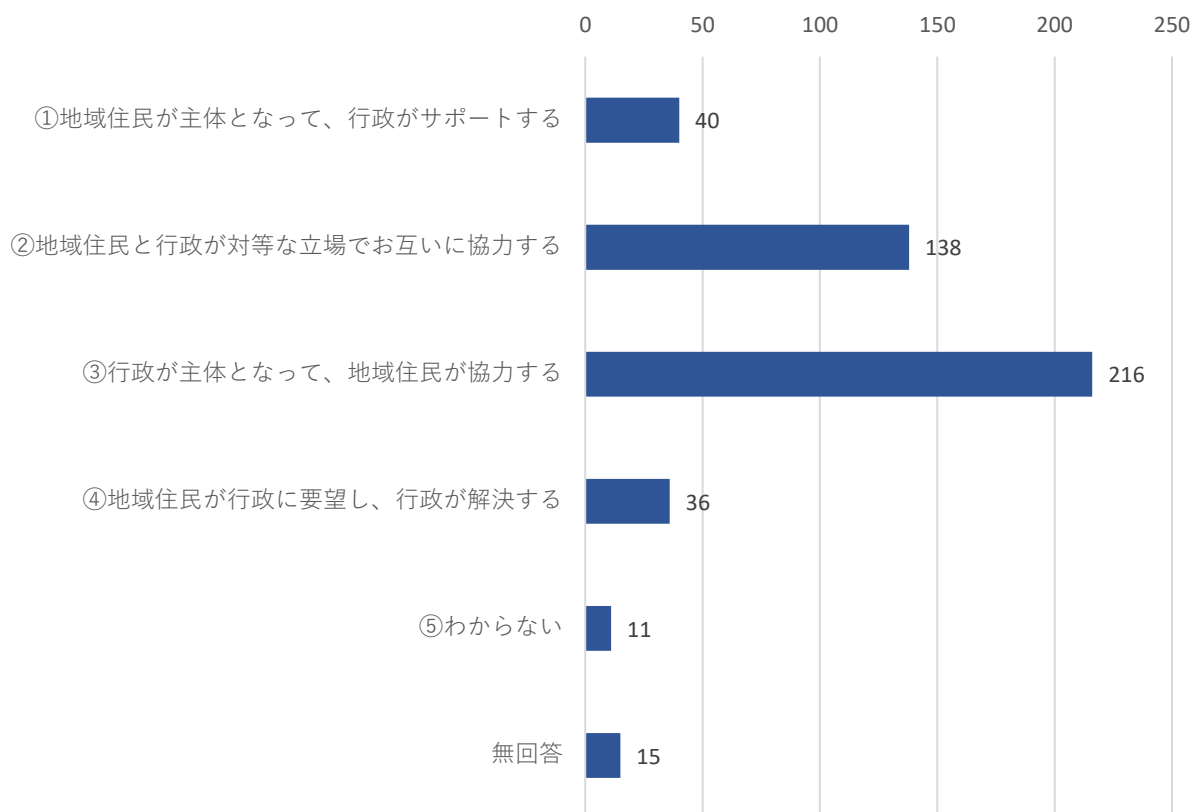
親睦・交流事業



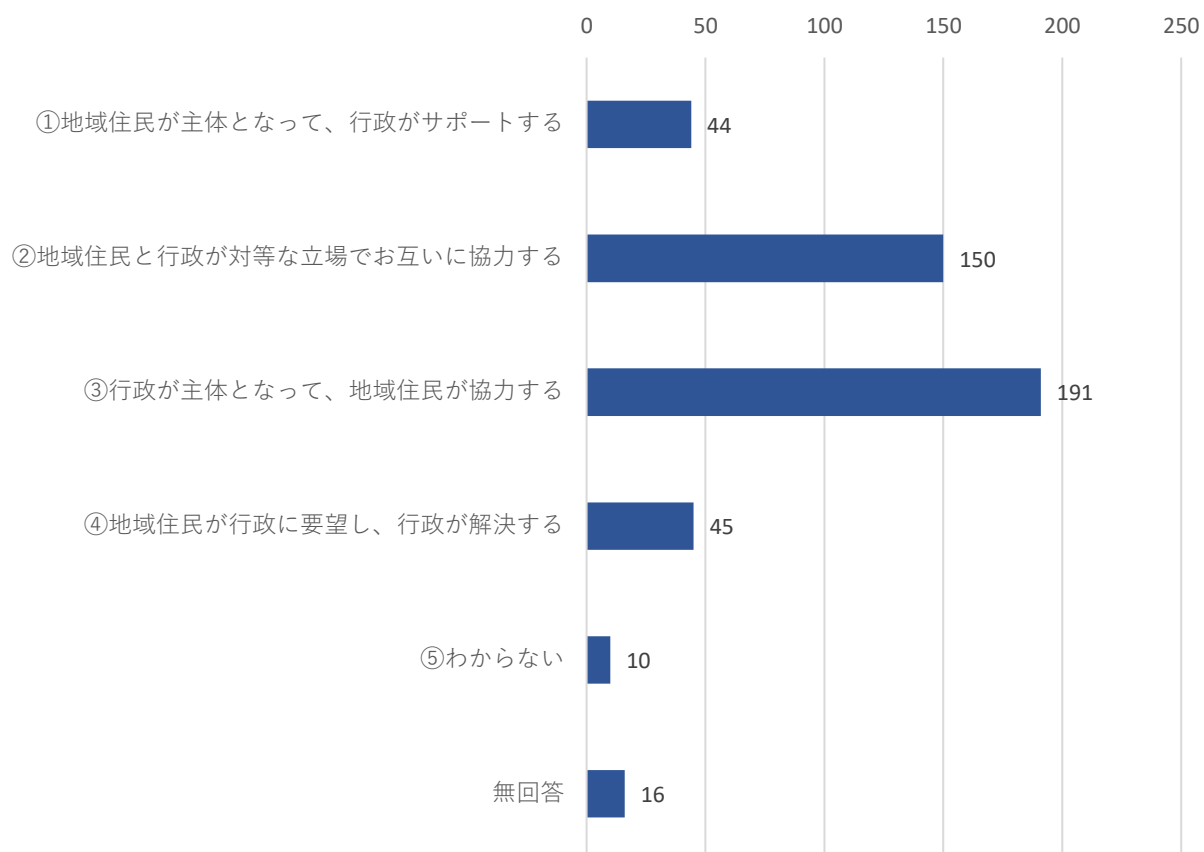
お祭り・伝統文化の継承



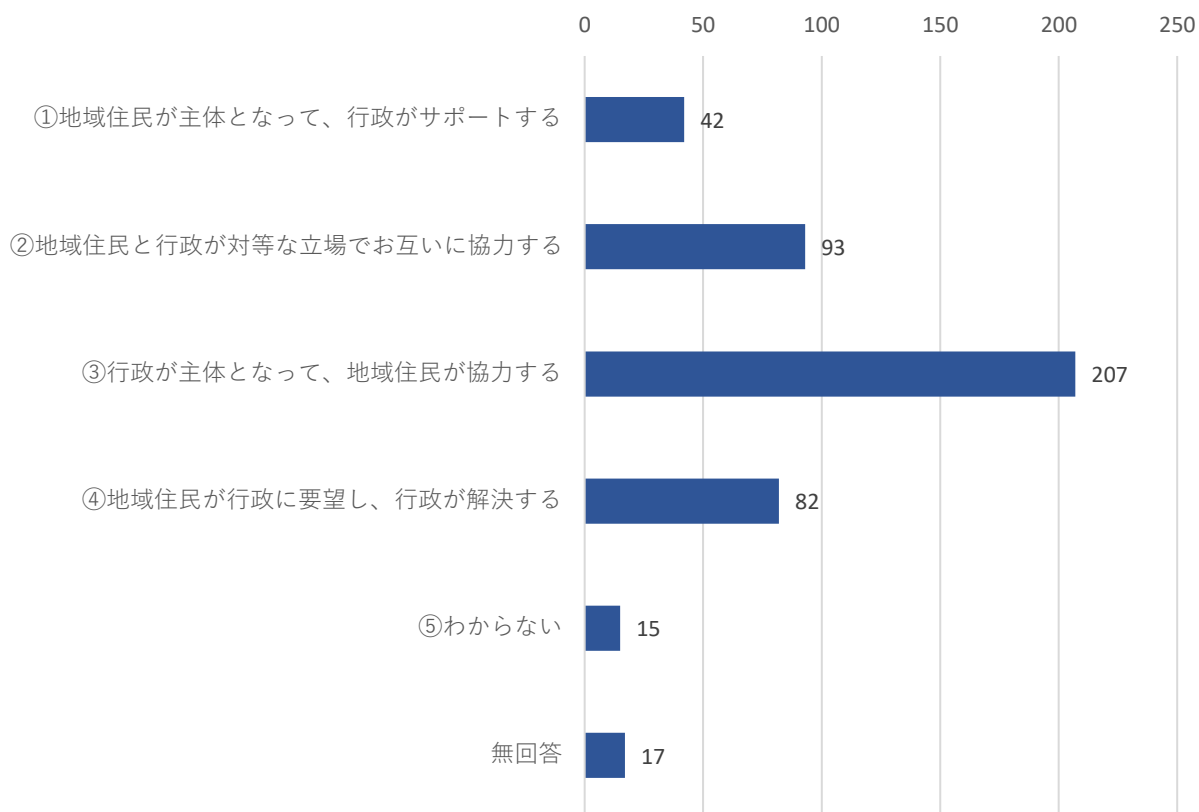
防災



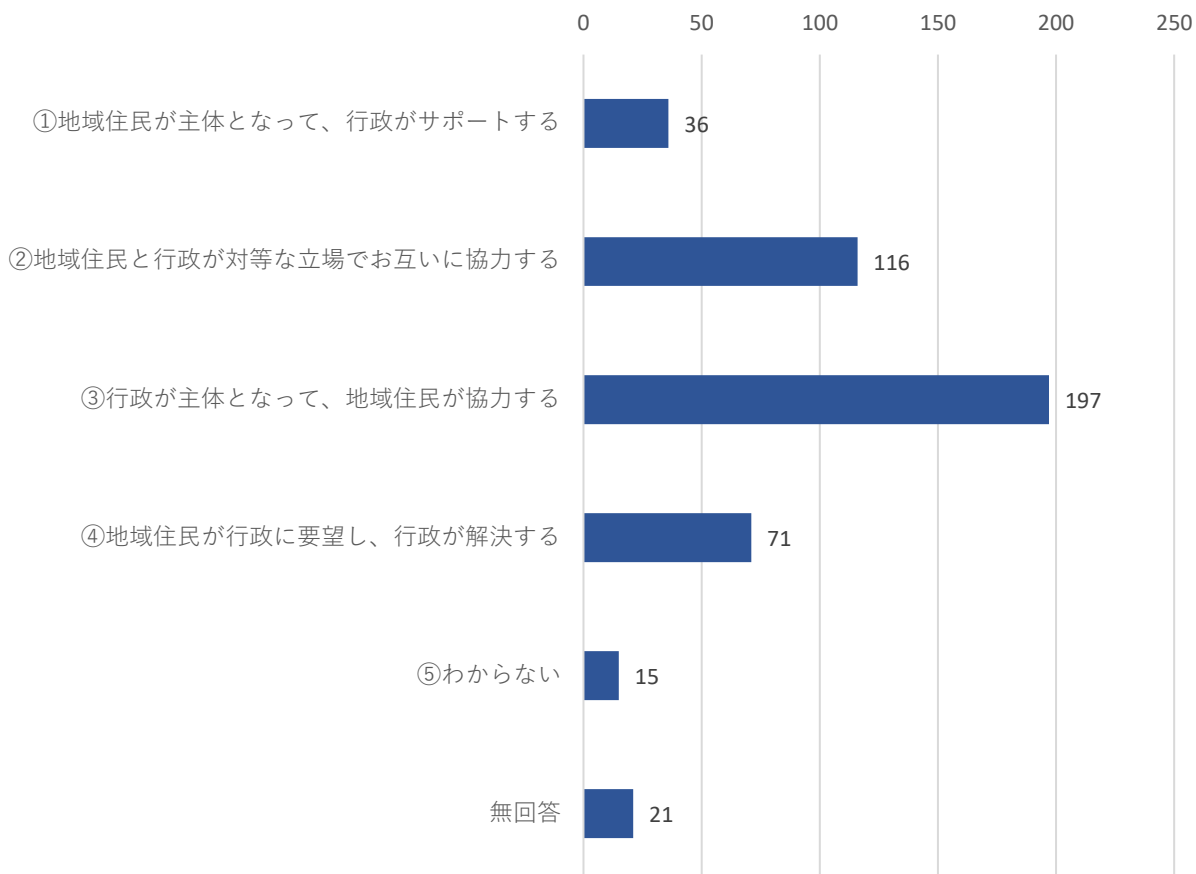
防犯・交通安全



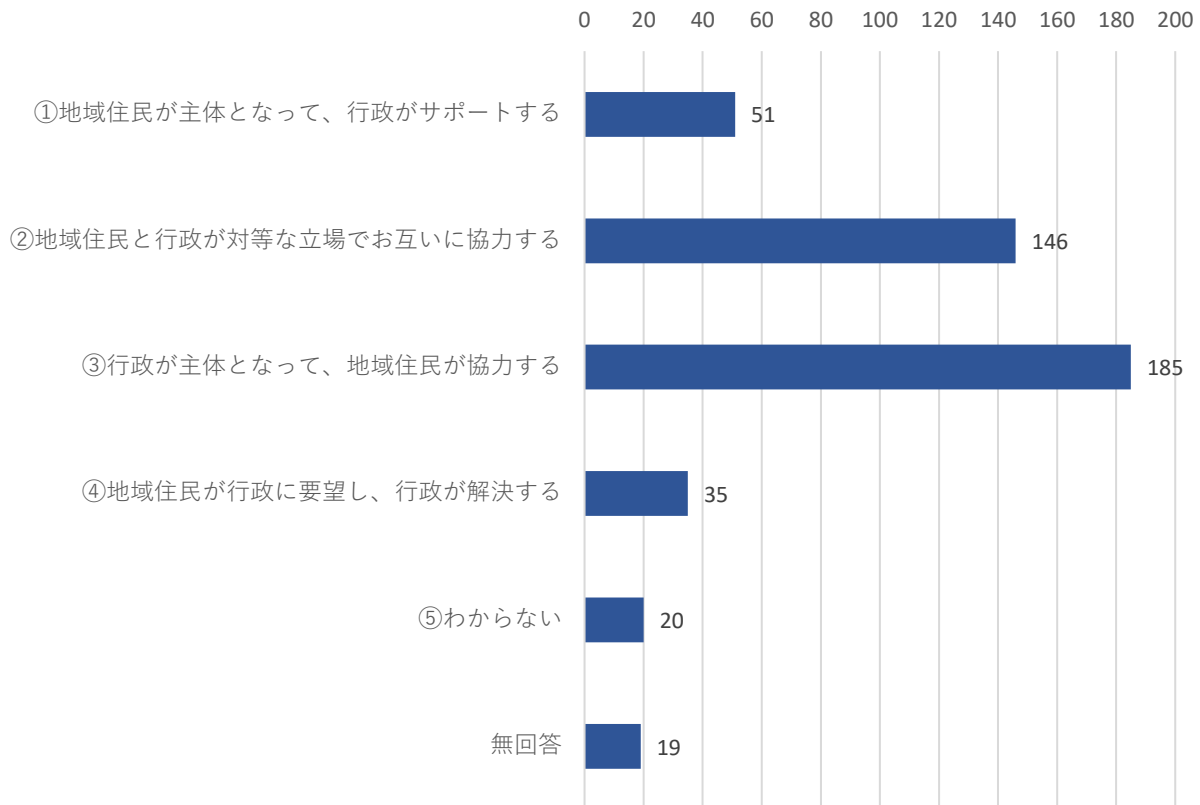
高齢者福祉



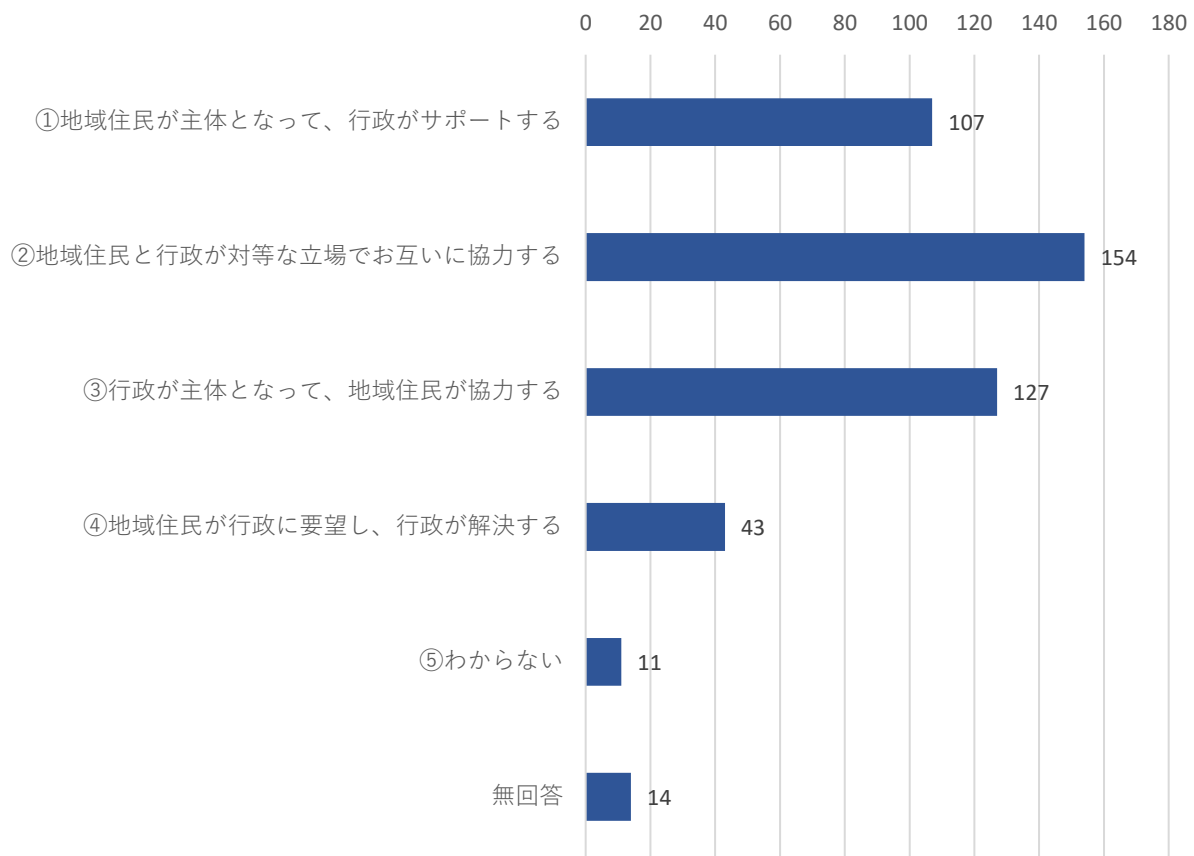
子育て支援



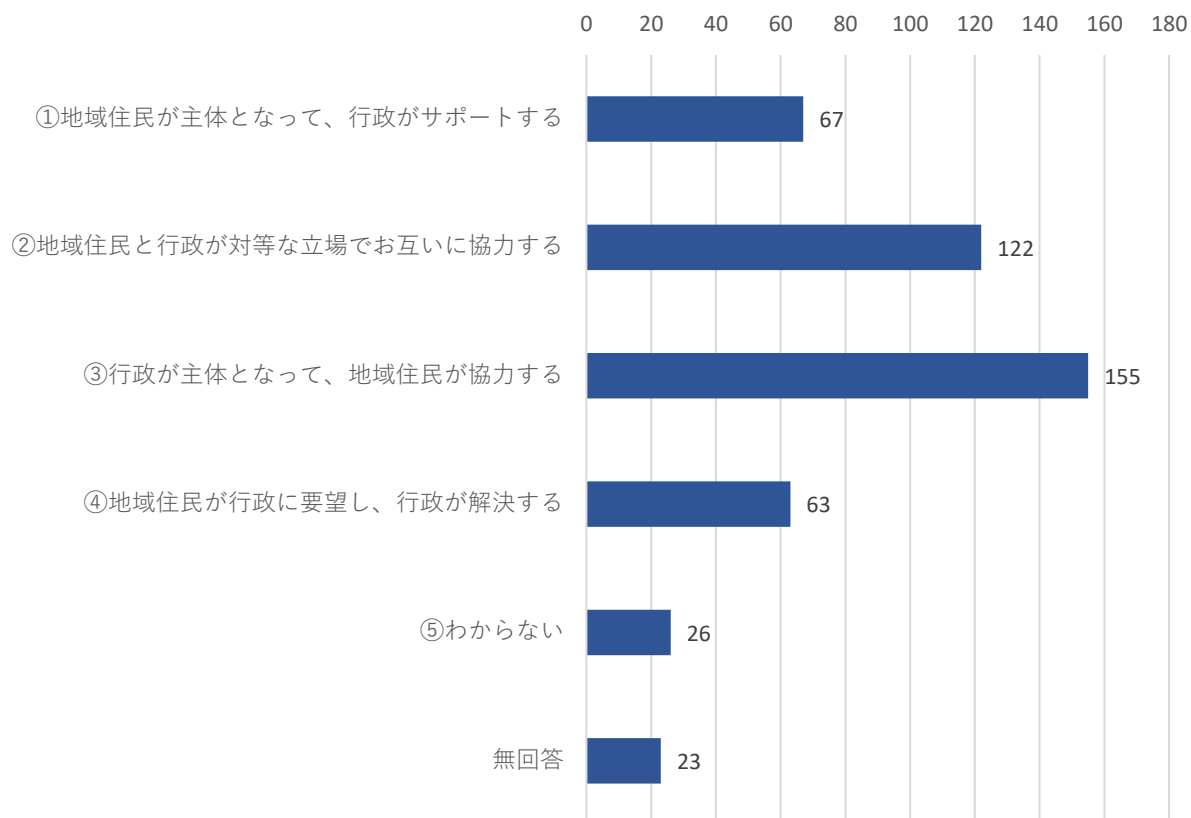
青少年の育成



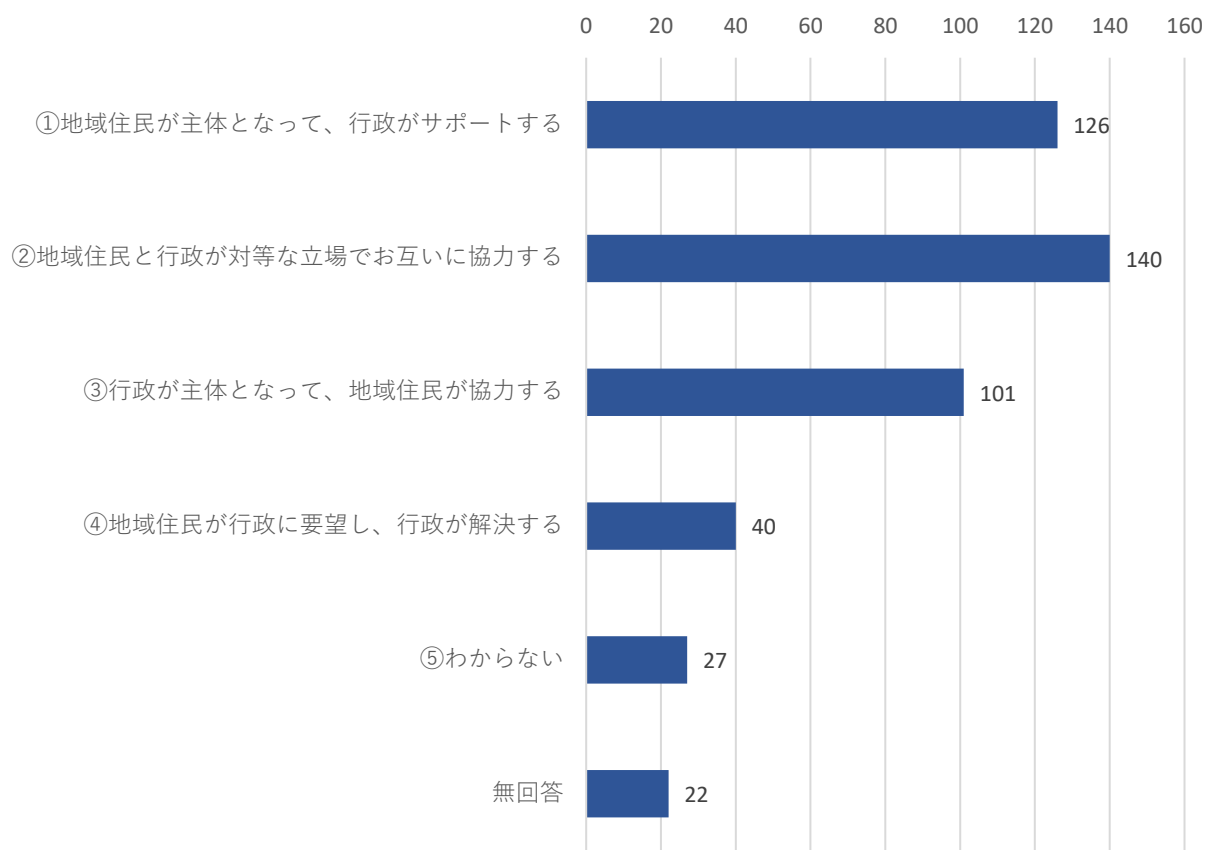
環境保全・美化



学習の機会づくり



スポーツ活動



【問 1 6】高島市の地域活動や市民活動、協働のまちづくりに関するご意見、ご提案があればご記入ください。（自由記載）

※自由記載が多数あり、すべてを原文のまま掲載することが困難なため、同様のご意見は集約したり、一部内容を要約して記載しています。ご了承ください。

<主要話題に含まれる主要な回答>

話題01（緑）

働く世代が地域の保全、美化に手が回らず、高齢者が主に負担を担うことが多く、この現状を変えることは難しく、地域へ興味関心が薄く、協力する大切さが分からない世代へ幼少期から地域とのつながりを教える必要性を感じる。

少し前までは活発だった地域活動も、高齢化、人口減少で難しくなっていると思います。これからは行政の協力が必要ではないでしょうか。

高島市職員だけではアイデアが浮かばない、活用できていないなら、市民からのアイデアを賢く利用すべき。

高齢者による高齢者のためのまちづくりではなく、子どもや若い世代のためのまちづくりをしていかなければ先はないと思っています。

地域活動が弱くなると、地域内での助け合いが出来なくなり、災害等への対応がむづかしくなる。青年層の活動、交流出来る場所づくりが考えられてないか。

拠点があれば、いくつもの活動団体の事務所を同じ場所に作れるように、普段からのネットワークのため

地域で行われている行事等には参加していますが、市全体で行われている活動がどのようなものか、内容が余り把握出来ていないので、参加する事があまりありません。内容がもう少し具体的に分かれば、いいのかなと思います。

地域の活動が高齢化で継続が困難となってきた。ボランティアの力で乗り切ろうと思うが、趣旨は理解してくれるが、参加の一步を踏み出す人が居ない。自分たちで地域を守ろうと云う意識が低く、行政にばかり求めている。人口減少、世帯数の減少、更地の増加等、地域が縮小しているので、今まで有った物の数がこれからはそれだけの量と質が必要か見直し、支出の削減を計り、今後必要となる所へ配分を見直して欲しい。

話題02（黄）

地域内での交流が少ないから隣人の事情が分からない。昔は向こう三軒両隣という風習があった、町内意識があって、特に希薄な関係が広がっているのは残念な事です。もしかしたら住民と行政に乖離があるのでは？あたらしい時代に応じた行政が必要と思います。

過疎化が進む中で、各集落の自治を安定的に継続していくことが困難になることが予想される。孤立化をできるだけ少なくするには、何よりも顔の見えるお隣近所のつながりが大切であると思う。地震等が起きた場合は、隣組などの小さな集団で人員を確認していくような備えが必要である。新しい組織を作れば、何か積極的に活動しているように見えるが、今ある組織などを充分に活用することが大事だと思う。

高齢者や空き家が増える中、高齢者の方が中心に集まり決まっていきます。若い世代がそもそも、いつ、どの場所で、どうやって参加するのか分からない。参加するにしても、仕事、子育て、介護がある中で時間すら作りにくい…、どうすればいいのでしょうか？

高齢者が多く、子育て世代、それ以下の年齢の地域への行事参加が必須となる。行政でどのような対策をしてくれるのか、働く世代が地域の保全、美化に手が回らず、高齢者が主に負担を担うことが多く、この現状を変えることは難しく、地域へ興味関心が薄く、協力する大切さが分からない世代へ幼少期から地域とのつながりを教える必要性を感じる。

地域活動はコロナ禍になってから次々と中止され、時期が過ぎても積極的に開催されない面があると思います。住民同士のつながりも一度薄れてしまったので、行政の主導で今一度イベント主催いただくなど繋がりを再び作るキッカケが外部から作って頂けるとまた活動も動き出すのではと感じます。また、若い世代の世帯は活動の参加に消極的と耳にします。広報等で参加することのメリットや必要性を広める（チラシではなくSNS等世代に合った方法で）のも有効かもしれません。

話題03（紫）

市周辺地域では人口減少・少子高齢化が顕著に進み、このままでは疲弊するのみである。周辺地域が活性化すれば高島市の未来は、持続可能な素晴らしい市となると確信します。地域のまちづくりを推進するためには、各支所の元気と活力と一定の権限移譲が不可欠と思料します。住んでよかったと思える高島市になるよう、市民と行政が一体となって知恵と元気と活力を取り戻しましょう。

私の住む地域では、新しく入区する人を歓待する行事があります。かつては男子の誕生、婿入りなどを祝うものでしたが、今では男女、年齢を限らず、区入りする全ての人を区全体が一堂に会して祝い交流するものへと変わっています。旧来の行事や儀式などが変化し、新しい展開が進んでいる例なども含めたデータベース（参考事例集、利用しやすい）を作成するのも一助になると思います。

町の単位が大きすぎると感じることもある。旧町単位が良いこともあるし、区毎が良いこともあるし、行事や活動によって規模を見極めてほしい。各地域に住む職員さんが、地域にもっと心を開いて、職員としてではなく、地域のひとりとして一緒に活動に取り組んでほしい。仕事感を出しすぎ。地域の人（は）もボランティアなので、立場は違っても同じ。職員ならば、知らない、できない、わからないはやめて、地域と一緒に考えていく事が大切だと思います。地域も行政も自分事として取り組んで、足元から活動をコツコツと進めていく方が良いと思います。

過疎化が進む中で、各集落の自治を安定的に継続していくことが困難になることが予想される。孤立化をできるだけ少なくするには、何よりも顔の見えるお隣近所のつながりが大切であると思う。地震等が起きた場合は、隣組などの小さな集団で人員を確認していくような備えが必要である。新しい組織を作れば、何か積極的に活動しているように見えるが、今ある組織などを充分に活用することが大事だと思う。

高島市まちづくり活動に関して、様々な行政・市民レベルでの施策を練っておられる事と存じますが、目に見えた効果が無いと思います。例えば、「市民協働のまちづくり推進指針」に於いては、平成20年に策定され、15年経過した現在でも、課題は相変わらずの現状と考えます。様々な事柄に対処するのではなく、極所的な課題に資金や時間、労力を集中して、外部の目から見て判るレベルの成果を出すべきと考えます。資金（補助金）を集中する事で、提案型事業の内容も応募も増え、費用対効果の良化がなされると考えます。

話題04（赤）

高島市が住みやすい町かと考え、良いところ・住民のまとまりがある・自然豊か、作物豊か・最近、古民家などを利用しての店があちこちでできている課題・発展がない⇒働き口が少ない特に企業・教育の充実が必要、学校の教育予算少ない・娯楽施設減少、公民館、図書館などの施設が各町村で差がある・大企業などのある市は上記が充実している課題なところを改善しつつ、良いところをもっと各地区が活かして若い人にも魅力ある協働のまちづくりが必要であると考えます。課題の部分は特に行政に力を入れていただきたい。

高島市は環境を第一に、里山・里地の自然観察・ダム of 仕組みを考える（石田川ダム）・歴史探訪など、産官民が協働で、高島市ならではの利用、環境と経済の好循環の仕組み、アイデアを出し合いプログラム化・実施（ハイキング・教育旅行・修学旅行・企業研修など）を考えたらと思います。

子ども会などの活動への助成金や、施設利用減免も含め、利用可能施設の拡充を役員の時に探しました。とりわけ地域と食育をつなげるような行事はボランティア精神がないとできない上に、ハードルが高いので、そういったプランへの助成が欲しいです。

これまでの「美化」・「安全」という視点を変えて、「自然との共生」の視点で再度インフラや地域の構造物を作り変えてはどうでしょうか。

市の幹部や職員が、協働の意味をしっかりと理解し、住民に十分浸透させる必要性を感じます

話題05（青）

地域活動のことについて一度も学んだことがないと、市民参画とかパブリックコメントすら具体的に分からないと思います。そもそも「まちづくり活動」の定義であるとか説明のない状態では非常に分かりづらいアンケートであると思います。このようなアンケートで何百人にもアンケートをとっても出てきた結果が根元観を掴んでいるかといえ、掴めていないと思います。一考願います。

もう少し、獣害対策や河川清掃や、冬季の除雪に行政が、各地域の為に見回りや状況分析し、その地域の声をしっかり受け止め、対策や、予算の捻出し、明るく、安心安全な町づくりをしていく！また、働き方に関しても、週休2日制の完全実施を、建設業や、企業に対して抜本的な対策と指導の徹底を！

高島市の会館やホールの活用、空きスケジュールが目につき、会館を維持する財源や人件費が赤字になるなら、リストラや、ホール運営をプロの企業へ委託すべきです。

「高島市のまちづくり」とは何ぞや？その理念が見えてきません。「持続可能」「協働」等、新しい言葉を使うときは、多くの市民がイメージしやすい理解の進む表現を考えられた方が様々な取り組みも広く浸透しやすいのではと思います。

まちづくりの定規は何ですか？市民のみなさん、関心ないと思いますけど。今何人の方が協働のまちづくりの関心あるのかな？たぶん10%以下だと思いますよ。市が思っている事と市民が思っている事には、めちゃくちゃひらきがあると思いますよ。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました！

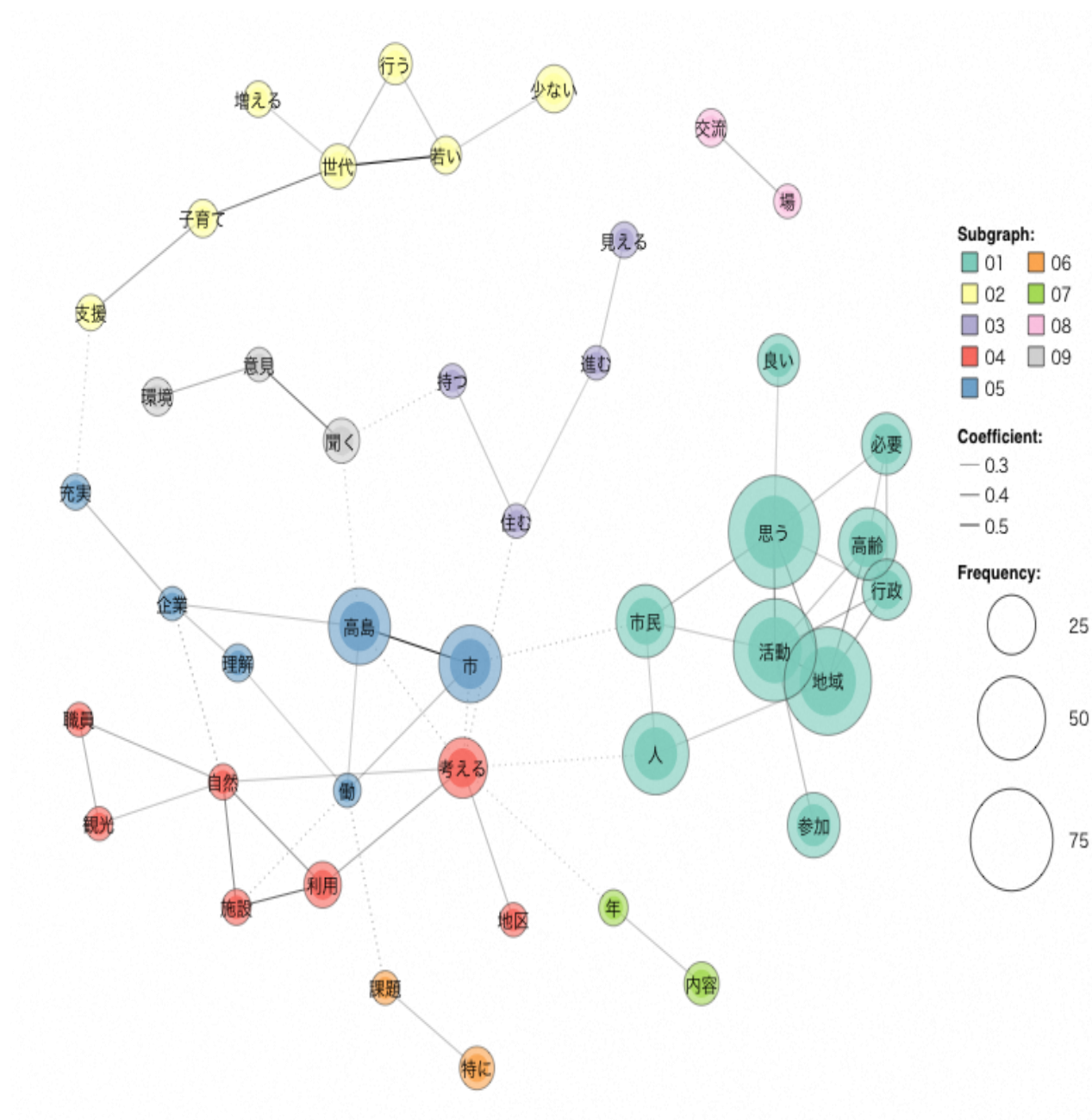


図 共起ネットワークグラフ (KH Coderにより作成) による主要話題の特定